

店舗別申請額計算書



- ・支給対象店舗かどうかは3ページのチャート図でご確認ください。
- ・どの計算書を用いるかは4ページのチャート図でご確認ください。

2019年または2020年の4～5月(2ヶ月間)の売上高から、支給額を計算しましょう。

手順1: 2019年または2020年いずれかの4～5月(2ヶ月間)の、飲食事業における売上高(税抜)はいくらですか?

※売上帳などに記載されている月間売上高を税抜で記入してください。税抜の売上高が分からない場合は、税込売上高を「1.1」で割り(2019年9月以前は「1.08」で割り)小数点以下を切り上げて税抜売上高を算出してください。

2019年または2020年4月の売上高 円(税抜)	+	2019年または2020年5月の売上高 円(税抜)	=	ア:	4月～5月(2ヶ月間)の売上高 円(税抜)
↑ 同様の4月・5月の売上高を記入してください ↑					

「ア」の金額が6,100,000円(税抜)以下(1日あたり100,000円以下)の場合

協力金1日あたり支給単価 **イ: 40,000円** です。

「ア」の金額が6,100,000円(税抜)超(1日あたり100,000円超)の場合

「ア」の金額 ÷ 61日 × 0.4 = 円

↓
1,000円未満切上 ※10万円を超える場合は、100,000円(上限額)

協力金1日あたり支給単価 **ウ:** 円 最大10万円※

手順2: 期間ごとの支給額を計算しましょう。(いずれかの期間が対象外となる場合は、支給対象となる期間のみ計算してください。)

【4/20～5/11(まん延防止等重点措置期間)にかかる協力金支給額の計算】

【イまたはウの金額】 ×

時短・休業 協力日数	※最大22日間 _____日
---------------	-------------------

 = ★1 _____円

【5/12～5/31(緊急事態措置期間)にかかる協力金支給額の計算】

【イまたはウの金額】 ×

時短・休業 協力日数	※最大20日間 _____日
---------------	-------------------

 = ★2 _____円

〈※複数店舗ある場合はコピーして使用してください。〉

店舗ごとに作成し、当該店舗の支給額(上記★1、2)を交付申請書(P7,8)の各店舗の申請金額欄に転記してください。

店舗別申請額計算書 - ②

- ・支給対象店舗かどうかは3ページのチャート図でご確認ください。
- ・どの計算書を用いるかは4ページのチャート図でご確認ください。

売上高の減少額を算出し、支給額を計算しましょう。

手順1:

2019年または2020年と、2021年4～5月(2ヶ月間)の飲食事業における売上高合計額(税抜)をそれぞれ計算します。

※売上帳などに記載されている月間売上高を税抜で記入してください。税抜の売上高が分からない場合は、税込売上高を「1.1」で割り(2019年9月以前は「1.08」で割り)小数点以下を切り上げて税抜売上高を算出してください。

2019年または2020年4月の売上高 円(税抜)	+	2019年または2020年5月の売上高 円(税抜)	=	2019年または2020年4月～5月(2ヶ月間)の売上高 ア: 円(税抜)
↑ 同年度の4月・5月の売上高を記入してください ↓				
2021年4月の売上高 円(税抜)	+	2021年5月の売上高 円(税抜)	=	2021年4月～5月(2ヶ月間)の売上高 イ: 円(税抜)

手順2:

協力金1日あたり支給単価を計算します。

$$[\text{ア}] - [\text{イ}] \div 61日 \times 0.4 =$$

円
↓
1,000円未満切上
※20万円を超える場合は、 200,000円(上限額)
最大20万円※ ウ: 円

協力金1日あたり支給単価

手順3:

期間ごとの支給額を計算しましょう。
(いずれかの期間が対象外となる場合は、支給対象となる期間のみ計算してください。)

【4/20～5/11(まん延防止等重点措置期間)にかかる協力金支給額の計算】

$$[\text{ウの金額}] \times \begin{matrix} \text{※最大22日間} \\ \text{時短・休業} \\ \text{協力日数} \quad \text{日} \end{matrix} = \text{★1} \text{円}$$

【5/12～5/31(緊急事態措置期間)にかかる協力金支給額の計算】

$$[\text{ウの金額}] \times \begin{matrix} \text{※最大20日間} \\ \text{時短・休業} \\ \text{協力日数} \quad \text{日} \end{matrix} = \text{★2} \text{円}$$

(※複数店舗ある場合はコピーして使用してください。)

店舗ごとに作成し、当該店舗の支給額(上記★1、2)を交付申請書(P7,8)の各店舗の申請金額欄に転記してください。

店舗別申請額計算書



記入例はP10の㊸のものを参考にしてください

- ・支給対象店舗かどうかは3ページのチャート図でご確認ください。
- ・どの計算書を用いるかは4ページのチャート図でご確認ください。

手順1:

2019年または2020年いずれかの4~5月(2ヶ月間)の、飲食事業における売上高(税抜)はいくらですか?

※売上帳などに記載されている月間売上高を税抜で記入してください。税抜の売上高が分からない場合は、税込売上高を「1.1」で割り(2019年9月以前は「1.08」で割り)小数点以下を切り上げて税抜売上高を算出してください。

2019年または2020年4月の売上高 円(税抜)	+	2019年または2020年5月の売上高 円(税抜)	=	ア: 円(税抜)
------------------------------	---	------------------------------	---	-------------

↑ 同一年の4月・5月の売上高を記入してください ↓

手順2:

期間ごとの支給額を計算しましょう。

(いずれかの期間が対象外となる場合は、支給対象となる期間のみ計算してください。)

[4/20~5/11(まん延防止等重点措置期間)にかかる協力金支給額の計算]

「ア」の金額が5,083,333円(税抜)以下(1日あたり83,333円以下)の場合

協力金1日あたり支給単価は 25,000円 です。以下を記入して支給額を算出しましょう。

25,000円 ×

時短・休業協力日数 ※最大22日間	日
----------------------	---

=

★1

円

「ア」の金額が5,083,333円(税抜)超(1日あたり83,333円超)の場合

※売上高はすべて税抜の金額を記入してください。

「ア」の金額

÷

61日 × 0.3

=

円

↓ 1,000円未満切上 ※75,000円を超える場合は、75,000円(上限額)

協力金1日あたり支給単価 イ: 最大75,000円※ 円

「イ」の金額

×

時短・休業協力日数 ※最大22日間	日
----------------------	---

=

★1

円

[5/12~5/31(緊急事態措置期間)にかかる協力金支給額の計算]

「ア」の金額が6,100,000円(税抜)以下(1日あたり100,000円以下)の場合

協力金1日あたり支給単価は 40,000円 です。以下を記入して支給額を算出しましょう。

40,000円 ×

時短・休業協力日数 ※最大20日間	日
----------------------	---

=

★2

円

「ア」の金額が6,100,000円(税抜)超(1日あたり100,000円超)の場合

※売上高はすべて税抜の金額を記入してください。

「ア」の金額

÷

61日 × 0.4

=

円

↓ 1,000円未満切上 ※10万円を超える場合は、100,000円(上限額)

協力金1日あたり支給単価 ウ: 最大10万円※ 円

「ウ」の金額

×

時短・休業協力日数 ※最大20日間	日
----------------------	---

=

★2

円

〈※複数店舗ある場合はコピーして使用してください。〉

店舗ごとに作成し、当該店舗の支給額(上記★1、2)を交付申請書(P7,8)の各店舗の申請金額欄に転記してください。

店舗別申請額計算書



記入例はP12の㊸
のものを参考にして
ください

- ・支給対象店舗かどうかは3ページのチャート図でご確認ください。
- ・どの計算書を用いるかは4ページのチャート図でご確認ください。

売上高の減少額を算出し、支給額を計算しましょう。

手順1:

2019年または2020年と、2021年4～5月の飲食事業における売上高合計額(税抜)をそれぞれ計算します。

※売上帳などに記載されている月間売上高を税抜で記入してください。税抜の売上高が分からない場合は、税込売上高を「1.1」で割り(2019年9月以前は「1.08」で割り)小数点以下を切り上げて税抜売上高を算出してください。

2019年または2020年4月の売上高 円(税抜)	+	2019年または2020年5月の売上高 円(税抜)	=	2019年または2020年4月～5月(2ヶ月間)の売上高 ア: 円(税抜)
↑ 同様の4月・5月の売上高を記入してください ↑				
2021年4月の売上高 円(税抜)	+	2021年5月の売上高 円(税抜)	=	2021年4月～5月(2ヶ月間)の売上高 イ: 円(税抜)

手順2:

協力金1日あたり支給単価を計算します。

「ア」 - 「イ」 ÷ 61日 × 0.4 = 円

↓
1,000円未満切上 ※20万円を超える場合は、200,000円(上限額)

ウ: 円
最大20万円※

手順3:

4/20～5/11 (まん延防止等重点措置期間)の協力金1日あたり支給単価の上限額を計算します。

「ア」 ÷ 61日 × 0.3 = **エ:** 円

※1,000円未満切上した金額を記入

手順4:

期間ごとの支給額を計算しましょう。
(いずれかの期間が対象外となる場合は、支給対象となる期間のみ計算してください。)

【4/20～5/11(まん延防止等重点措置期間)にかかる協力金支給額の計算】

**「ウ」及び「エ」のうち
いずれか低い方の金額** × 日 = **★1** 円

時短・休業
協力日数 ※最大22日間

【5/12～5/31(緊急事態措置期間)にかかる協力金支給額の計算】

「ウ」の金額 × 日 = **★2** 円

時短・休業
協力日数 ※最大20日間

(※複数店舗ある場合はコピーして使用してください。)

店舗ごとに作成し、当該店舗の支給額(上記★1、2)を交付申請書(P7,8)の各店舗の申請金額欄に転記してください。